自主・創造

第２０号　令和８年１０月２３日(金)

柏原市立国分中学校　校長室だより

「なぜ勉強するの？」　集会講話より

さて、なぜ勉強しないといけないのでしょうか。皆さん考えてみてください。
高校受験で希望する学校へいくため、大学へ行くため、将来、自分が困らないようにするため、楽しくて豊かな人生を築くため、大人になって困らないため、仕方ないからなど。では、その希望が叶ったらそのあとは勉強しないのでしょうか。きっとそんなことはないでしょう。

そして、よく言われることが、数学の方程式を勉強して、将来何の役に立つん？とか、社会の歴史や、国語の古文、理科の元素記号、などなど。その知識自体が直接将来の役に立つことは限定的です。ですから、将来社会で活躍していくにあたって、身に着けておかなければいけない有効となる能力を、９教科のアプローチを経て獲得するんです。

将来有効な能力とは、決断力、判断力、情報活用能力、体力、思考力などなど、他にも様々な力を身につけることで、みんなが将来損をしてしまうことがないようにします。校長先生が感じる３つの能力をあげるとしたら、これです。

理解力、想像力、表現力。

会社に就職して、商品を売ることになったとします。まずは、その商品の価値を理解しないといけません。そして、どうやったらたくさん売れるかを想像し、お客さんに表現します。

また、自分でパン屋さんを開くことになりました。パンに関する知識をたくさん勉強し、他のパン屋さんにないようなパンを想像して作り出し、お客さんに買ってもらえるよう、笑顔と元気さで表現します。などなど、これが校長先生が考える根拠です。

勉強をがんばるということは、できない自分をできる自分に変えることです。みんな最初からできたことはないと思います。自転車に乗ることだって、掛け算の九九が言えることだって、バスケットでドリブルができるようになることだって、楽器がうまく吹けるようになったことだって、全ては努力して勉強した結果です。

一方で、みんなそれぞれちょっとした癖があります。例えば、好きな教科は頑張るけど、嫌いな教科は勉強しない。思いつきでやるので、計画性がなく、期限までに間に合わない。上手くいかなかったり、間違ったりすると、やる気をなくす。勉強してても、すぐにスマホが気になり、youtube や tiktok を見てしまい、時間が過ぎてしまう。あれこれ気が行ってしまって、そわそわして集中できない。など。

この癖をそのままにして大人になると、、、どうですか？損をしてしまう自分になりますよね。だから、しんどいことから逃げてしまう自分を許してしまうと、いつまでたっても、そういう自分のまんまです。

だから、学校があるんです。勉強だけなら一人だってできます。でも、仲間と一緒に学ぶことで、周りの影響を受けて頑張れるんです。

「やってみたい」という気持ちこそ、未来を切り開く力になります。がんばってください。

最後の前期中央委員会

10月22日（木）に令和８年度最後の前期中央委員会が行われました。良かったことや改善点などを話し合い、最後に、
今後に引き継ぎたいこと、先生や仲間への感謝の気持ちを語ってました。話し合いの様子を見ていて、リーダーの皆さんの成長ぶりをしっかりと感じることができました。



良かったこと…
・中央委員会でのあいさつの雰囲気が良かった。
・発言者の方向におへそを向けて聞くという姿勢が徹底出来ていてよかった。
・国分中学校の伝統を引き継げたことが、良かった。　など

改善点…
・中央委員会で話し合った内容を、学年に持ち込めていなかった。
・中央委員会に於いて、挙手をして発言することに繋がらなかった。　など

引き継ぎたいこと…
・国分中学校の伝統である「挨拶」と「振り向き」を今後も継承していきたい。
・「情熱」「元気」「気合」を中央委員会で、盛り上げていって欲しい。
・ひとり一人の個性や意見を大切にしていきたい

生徒会本部役員の立候補者が出そろい、来週から選挙運動が始まります。どのような公約を語り、どんな学校を目指していくのでしょうか。期待したいと思います。

結びに、各リーダーの皆さん、本当にお疲れさまでした。そしてありがとうございました。経験して得た力をもとに、今後の活躍を期待しています。そして、新しいリーダーを待っています。まだチャレンジしたことがない人、自分を成長させたいと感じている人、中央委員会に参加して、学校をより良い方向へ進めていきたいと思う人。そんな志がある人を、求めています。一緒に頑張ってみませんか？

授業参観お誘いあわせの上、ご来校ください。

10月30日（金）13：55より授業参観を行います。今年度最後の、参観になります。３年生にとっても、最後の機会となりますので、お誘いあわせの上、教室でのお子様の頑張りをご覧になりに来てください。、是非ともよろしくお願い致します。